

第171回 伊丹市内企業の景気動向調査

<調査対象> 伊丹市内の主要企業150社
 <調査方法> 郵送によるアンケート調査方式
 <比較方法> 景気動向については「直前期」、経営動向については原則として「前年同期」と比較
 <有効回答数> 150社中 67社 (一般27、食料品工業6、商業7、建設業10、運輸業9、サービス業8) 回答率44.6%

調査結果

〔伊丹市内企業の経営動向について〕

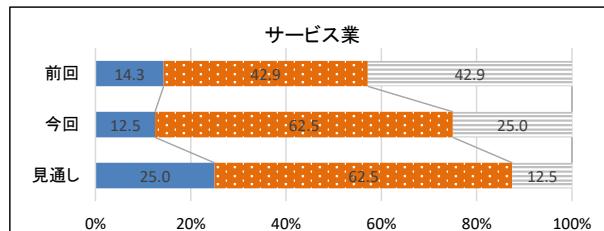
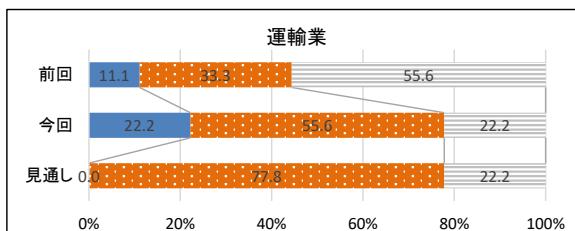
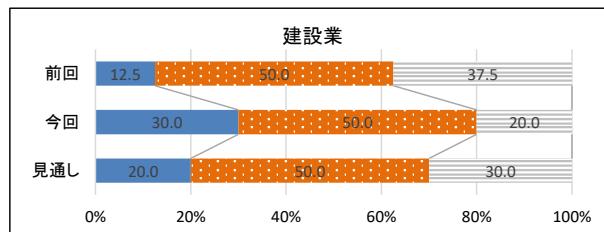
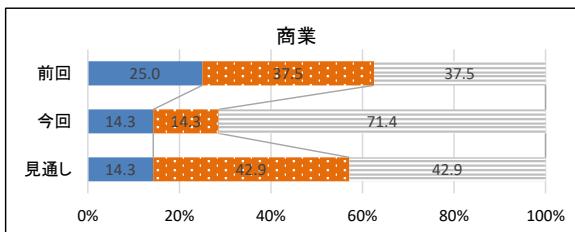
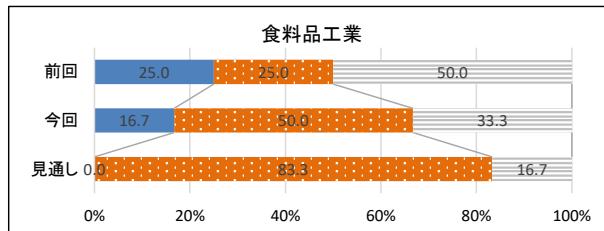
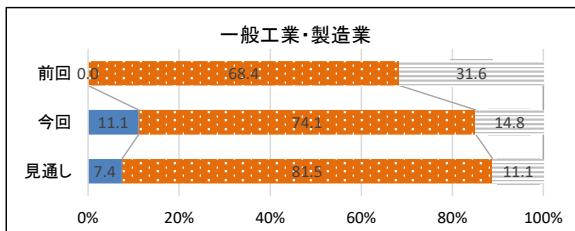
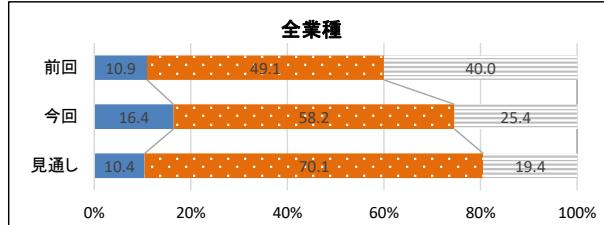
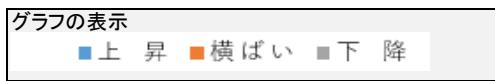
産業別DI(景気動向指数)とは…それぞれの調査項目に対してプラス傾向(増加・好転など)の回答割合からマイナス傾向(減少・悪化など)の回答割合を差し引いたもの。

	晴れ(好調)	くもり	雨(不振)
DI値	+30	+10	▲10
	▲30		

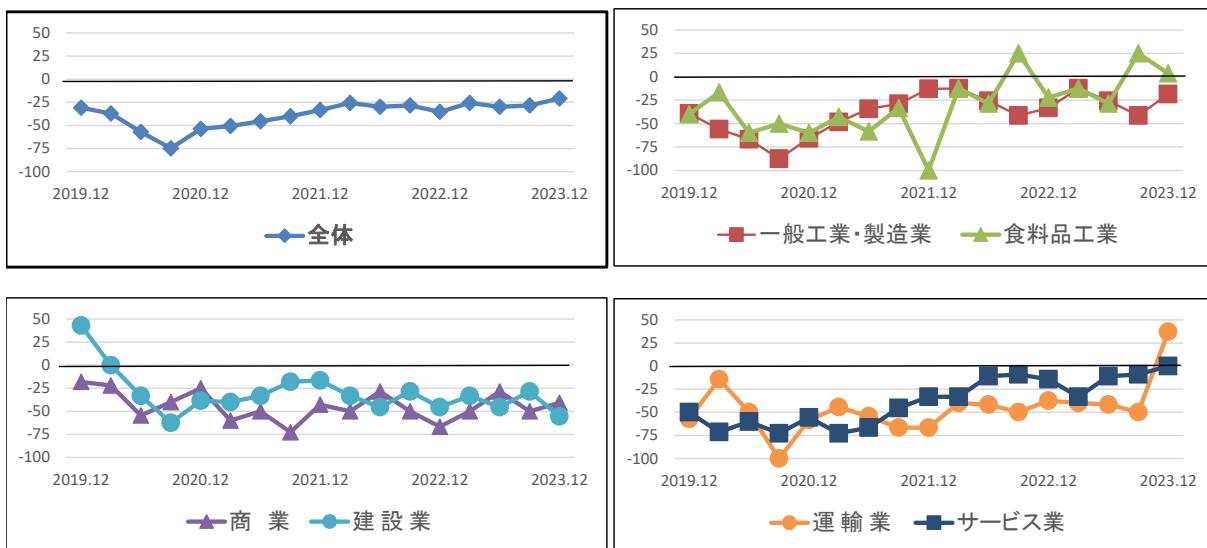
全業種	業況		売上		採算		仕入単価		従業員	
	▲ 20.9	● 4.5	▲ 26.9	● 0.0	▲ 59.7	● 0.0	不足	25.4		
一般工業	▲ 18.5	● 3.7	▲ 40.7	● 0.0	▲ 55.6	● 0.0	かなり不足	37.0		
食料品工業	▲ 66.7	● 16.7	▲ 33.3	● 0.0	▲ 100.0	● 0.0	過剰	▲ 16.7		
商業	▲ 14.3	● 14.3	▲ 14.3	● 0.0	▲ 57.1	● 0.0	不足	28.6		
建設業	▲ 30.0	● 10.0	● 0.0	● 0.0	▲ 70.0	● 0.0	かなり不足	40.0		
運輸業	▲ 11.1	● 11.1	▲ 44.4	● 0.0	▲ 77.8	● 0.0	かなり不足	33.3		
サービス業	● 0.0	● 25.0	● 0.0	● 0.0	▲ 12.5	● 0.0	過剰	▲ 12.5		

〔伊丹市内企業の景気動向について〕

今回の調査結果(回答67社)によると、令和5年6~9月期の景気実績は「上昇」回答16.4% (前回10.9%)、「下降」回答25.4% (前回40%)、景気見通しは、「上昇」回答10.4%、「下降」回答19.4%となった。



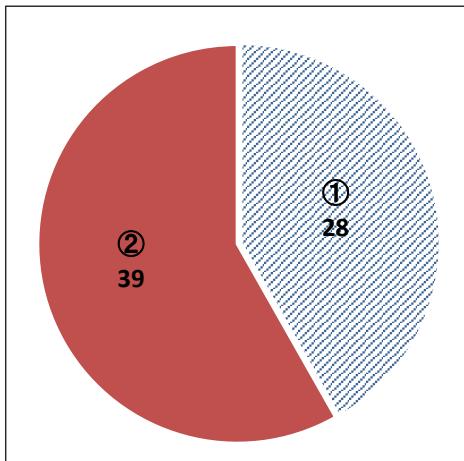
★業況DIの4ヶ年推移



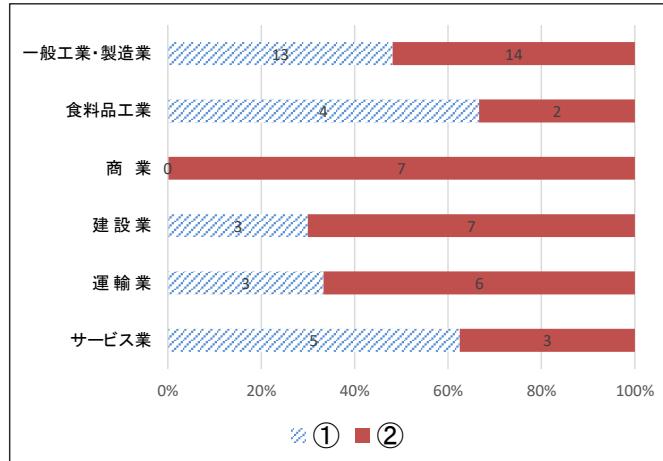
4-1. ひょうご産業SDGs推進宣言事業はご存じですか。

- 回答: ①知っている
②知らない

<全体>



<業種別>



4-2. 上記設問に対し、登録情報の有無をお答えください。

	合計	一般工業・ 製造業	食料品工業	商業	建設業	運輸業	サービス業
すでに登録済である	5	3	2	0	0	0	0
これから登録予定である	17	10	0	3	2	1	1
今後も登録の予定はない	45	14	4	4	8	8	7

ご意見など

